



もうすぐ、節分・・・皆さんはお子様に鬼の存在をどのように伝えますか？
少し前に携帯で、鬼が怖い顔で登場し「いうことを聞かない悪い子はどこだ〜」「そんな奴はこの俺様が懲らしめてやる！」など怖がらせるだけのアプリができました。そんな鬼を使って子どもを怖がらせ、大人の思うようにおとなしくさせる子育てをされていませんか？かえで保育園では、節分の意味・なぜ豆をいるか・毎年来る赤鬼はなぜ来るのか？を話します。赤鬼には子どもや先生の弱い心や頑張れない心・人に意地悪をしよう心・嘘をついてしまう心に豆をまき、その悪い心を持って帰ってもらうことを目的で豆まきをします。ランチルームで豆をまいた後、鬼にお願いします。今年の赤鬼は嫌な心を全部持って帰ってくれることでしょうか。これは保護者の方にはお願いです。
これからも「いうことを聞かない子は園長先生に言うよ！」と私を鬼の代わりにしないようにして貰いたいです。子どもにとって、保護者にとっても頼りになる存在でいたいですね。

2月2日は子どもたちの制作での表現の楽しさをご覧いただける作品点『楽しいかえでの日』が開催されます。今年は年明けに子どもたちとゆっくり制作を楽しみたいと考え2月に予定しました。子どもたちは今年体験した様々なことをどう形にするか・どう進めていくかを毎日考えて作成しています。また、今年はレイアウトも子どもたちと時間をかけて考え飾っています。2月2日家族皆さんでお越しください。かえでカフェではフラダンスを楽しみ、おかあさんのレベルの高さに『皆さんに披露してほしい』と思い急遽時間を設けました。30日の練習の成果を皆で楽しみたいと思います。当日参加でも先生の映像も流しますのでご参加ください。11:00ふたば組で踊ります。

踊ってくださったおかあさんには「かえでランチチケット」を一枚進呈いたします。
ふるってご参加ください！！



ダンディタイム



かえでカフェ

ダンディタイムのピタゴラススイッチづくりは随分進んできました。忙しいお父さんにお声をかけ皆さんで力を合わせて何とかできつつあります。子どもたちの喜ぶ顔をイメージしながら進めてきています。当日少しでもお手伝い頂き、素敵な時間を過ごしませんか？

周りの小・中学では『インフルエンザ』が猛威を振るい、学級閉鎖や学校休校が出ています。かえで保育園ではうがい・手洗いを励行するとともに、室内の空気の入替え、必要以上に室温を上げない・裸足で過ごすなど感染症対策のできることは進めています。大人になってからの裸足は冷たく、つらい修行になりますが、子どもときの裸足は足裏の刺激・温度調節など健康に一番良い方法です。幼児になると園庭での鬼ごっこや縄跳びで怪我になったり、靴を着用するお友達に足を踏まれての怪我など・・・トラブルはありますが、足元に気を付けながら健康な体作りを進め、もうすぐ来る暖かい春を目指して「自分で体を温めていく健康法」で過ごしていきたいと思います。

は～るがきた・は～るがきた どこにきた。山にきた。里にきた・野にもきた・・・❀❀❀

にこにこメッセージ

1月16日ひかり・だいちぐみで、六甲山のスノーパークへゆき遊びに出かけました。昨年、インフルエンザの流行もあり、参加できなかった子どもは「ひかりのときに行けなかったから風邪を引かないよう、うがいとかいっぱいするの」と、子どもたち皆で、体調が悪くならないように考え当日を迎えました。ゆき遊びに行くことを楽しみにし、それぞれの子もたちが目的に向かって調整していく力を感じることができました。ひかりぐみの子どもはゆき遊びはもちろんのこと、レストランで食べるカレーライスが楽しみで、たくさんそりを滑った後のカレーは格別の味になったようです。

研修で「対話」を通じ生じていく「人と人のかかわりの大切さを考える」というお話を聞きました。どちらもかえで保育園では、ずっと大切にしていることのひとつですが、講義の中で「対話の本質とは、人間として対等な立場で話し合う」「対話の中で子どもは言葉の意味を知り、周囲の環境に対する安心と信頼感を持つ」また「応答する対話能力は、教育の土台となり、成長と発達の培養土となる」と言われていました。日々、私たちは子どもの声を聴き、心の中の声を読み取ることを大切にしています。子どもが今、何を感じ、何を思っているか、子どもがどうしたいのか、どんな時にも子どもの行動には意味があります。研修を受けていると、頭の中に色々な子どもの様子が浮かんできました。研修で学んだことは園内で共有し、よりよい日々の保育につなげ「対話」を大切にしていきたいと感じました。2日間研修に行き思うことは、やはり現場で子どもと過ごす時間が一番落ち着くすてきな時間だと感じました。

主任保育士 藤森 寿美

せんせいからのおはなしコーナー

子どもの頃から本を読むのが好きで学生の頃は国語の教科書にあるお話を授業で扱う前から読み物として楽しんでいただけでした。それがいつの頃からかあまり本を読まなくなったことに気が付き最近ではまた、昔好きだった本を読もうとヘレンケラーの自叙伝を手に取りました。ご存知の方も多いと思いますがヘレンケラーは幼い子に目、耳、口に三重の障害を負っていましたが沢山努力をし障害を克服し教育家として生きた強い女性です。初めて読んだとき目も見えないのに話せるようになったなんてすごいなあぐらいの感想しか持っていませんでしたが今改めて読むと人の心に寄り添い信じ続けた周りの人の愛がヘレンケラーの人生を大きく変えたんだ。とまた違った視点で見ることができました。わたしもヘレンケラーのまわりの人のように何事にも前向きに挑戦していきたいです。みなさんも小さい頃好きだった本があれば教えてくださいね。

中西瑞紀

めばえ・ふたばからのお知らせ

- 週末は帽子だけでなく、上着も一緒にお持ち帰り頂き洗濯をお願いします。
- 散歩に出かける機会もありますので登園時には歩きやすい靴で来てください。

つぼみ・いぶき・ひかり・だいちからの お知らせ

- クッキングやごはん当番（だいちのみ）はマスクを使用します。その際には、ご準備をお願い致します。

～めばえぐみ～

ねらい：「手先遊びを楽しむ」「好きな遊びを楽しむ」

う た：「ひなまつり、あたまかたひざぼん、かごかご」

まだまだ寒い日が続きますのでお部屋の中でゆっくり過ごし、みんなで歌やわらべうたを楽しんでいます。天気がいい日は園庭に出て身体をいっぱい動かしたり、お姉ちゃん、お兄ちゃんと手を繋ぎ一緒にお散歩をしたり、滑り台を一緒に滑ったりして遊んでいます。またお外に出る前には、すっかり習慣づいたようで、自分で帽子と上着をとって保育者と一緒に着たり、準備ができていないお友達がいたら、帽子やジャンパーを持っていき「はい、どうぞ」と渡したりしてくれます。

なかよくおさんぽ



お友達が遊んでいると、「てって」と言い、自らお友達の手を握り近くまでいき、手を繋ぐ姿たくさん見られようになりました。

一人が繋ぐと、「わたしも、ぼくも」とだんだんお友達が増えて3、4人で手を繋いでいます。時にはお友達が気付いてくるまで何度も名前を呼ぶほど、だいすきという思いが溢れています。

鞆の中におもちゃを入れておでかけも楽しんでいます。鞆の中にチャックのついたものもあり、開けることはできても閉めることが

難しく、チャックを何回も動かしていくうちにだんだんと開け閉めができるようになりました。閉めることができると嬉しそうに笑っています。



わたしもつくりたい

一人がおままごとをしていると、「なにつくってるの」と興味深そうにみんな集まってきました。じーっとみつめたり手を伸ばしたりして「わたしもつくる」とスプーンやお皿をもってくると、みんなでご飯を一緒に作りながら、首を傾げたり顔を見合わせたりして楽しそうに笑いあっています。

ご飯ができるとお友達や先生に「どうぞ」と言ってご飯を持ってきてくれて、「美味しいね」というと嬉しくてもう一回と何度も繰り返しご飯を作ってくれます。上のクラスのお兄ちゃん姉ちゃんが布にお弁当を包んでいるのを真似して、お弁当と布を保育者に渡し、「つつんで」と持ってきてくれます。お弁当ができる満足そうに片手に持ってピクニックのようにご飯を食べて遊んでいます。



みてみて！

積木をつなげたり、積み上げたりして遊んでいるめばえさん。はじめは積み上げてもすぐに倒れてきては、すぐに自分でたおしてしていました。最近では積木を繋げて電車を作ったり、積木の上に乗る、車にしたりして遊んでいます。自分の背より高く積木を積み上げたりして遊んでいます。完成すると「みてみて、できたよ」と言うように「せんせい」と保育者の名を呼び、「すごいね、

できたね」と保育者が言うとパチパチと手を叩いて拍手していました。

“担任の思い”

どんどんと一人遊びが広がってきました。新聞紙をビリビリと破った後、袋の中に「ないない」と言いながら新聞紙を集めて片づける楽しさも味わっているようです。みんなの「おもしろい」「これやりたい」と思う一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、好きな遊びを保育者と共に見つけて一人遊びを広げながら、「まねっこ」から人との関わりも深めていきたいと思ひます。

～ふたばぐみ～

ねらい：「冬を感じながら、体を動かしてあそぼう」「絵本を見て様々な物を知っていこう」

う た：「ひなまつり」「ゆき」

手遊び：「ふしぎなポケット」 わらべうた：「どんぶかっか」「もぐらどん」「2階へ上がらして」

最近言葉が増え、友だちと会話が多くなってきました。ままごとでは「これおいしいよ」「カレーできたよ!」、積み木では何人かで作り「消防署できたね」「ここは車が・・・」と言いながら一緒につくり会話もしながらあそぶ毎日、どんどん変化していく子ども達の様子を楽しみに過しています。これから「友だちと一緒に!」と人との関わりが増えてきます。私たち保育者も共感しながら過ごしていきたいと思います。

自然みつけた!



冬になると中々散歩に出る機会が少なくなりますが、今年は暖かい日を見つけては交通公園へ行きました。久しぶりでも子ども達は覚えていて、「こうつうこうえん」も言えるようになっていました。「滑り台などで遊ぼう」と声掛けても「どんぐり!」「先生、木あったよ!」と言う子ども達の声が多く何か見つけることに興味があるようです。11月に行った時にたくさん自然物を見つけたことを覚えていたようで、子ども達からどんぐり等、見つけてくれました。「大きな木だよ」「どんぐりいっぱい」「こんな葉っぱあったよ」等、手にいっぱい持ちながら保育者に見せに来てくれました。保育園へ持って帰り、公園で何をしたか等みんなで話しました。これから、持って帰ってきたどんぐりや木、葉っぱを使って、制作をしていこうと思います。

いらっしゃい!



夕方の室内遊びでは、保護者から楽器の「ボンゴ(小さい)」を頂き、保育園にあった大きいボンゴも持って来て部屋のあそびとして置きました。大きさが違うと音も違う事に気づき、子ども達も2つ叩いてみて比べている様子が見られました。友だちと「めだか〜のがっこうは〜」や「せんろはつづくよ〜」と歌いながらリズムに合わせて歌う姿が見られ、「トン・トン」のリズムだけではなく「トン・トントン」と叩く時もあり、自分なりに考えながら音楽を楽しんでいます。



玉が転がる「クーゲルバーン」、ゆっくり転がっていく形もあれば、速く転がる形もあり、目で追いながら速さを楽しんでいます。毎日同じおもちゃが同じ場所にあり、遊びたいと思ったおもちゃであそぶ環境を大切にしていますので、新しく設置したボンゴとクーゲルバーンもふたばぐみの人気の空間となりました。

“担任の思い”

ふたば組で過ごす日々も後2ヶ月となりました。今月は、子ども達が好きだったあそびや生活面をもう一度丁寧に振り返ります。着替えでは、自分で出来る部分は見守り、必要な部分は一緒にしていきます。積み木やままごと遊び・模倣遊びでは、自分で考えたり、時には友達と一緒に作ったり、言葉のやり取りをしながら遊んでいます。今の成長を大切にしながら私たち保育者も共に感じ合いながら、楽しく過ごしていこうと思います。

西口 智子・高田 奈沙・柴原 ちはる

～つぼみぐみ～

ねらい：「友達の気持ちに気づく・鬼ごっこやカードゲームなどルールを守って楽しく遊ぶ」

う た：「幸せなら手を叩こう」「うれしいひなまつり」「三匹のこぶた」

園庭では、冷たい風が吹くと「寒い～」と言いながらも友達同士で鬼ごっこやむっくりくまさんなどをして、元気よく身体を動かして遊んでいます。体操も1月から園庭で行っていて、先生がワニなどの動物になり、捕まえられないように逃げる遊びもみんな楽しんでます。また、友達同士の関わりが多くなってきている中で「入れて」や「一緒に遊ぼ」と声を掛け合っている姿が見られ、友達の存在が大きくなってきているように感じています。

～うんとこしょ どっこいしょ～

オクラの栽培でいろんな野菜に興味があったことから「おおきなかぶ」のお話にも興味を持ち、成長発表会では「おおきなかぶ」でつぼみ組の元気な姿を見て頂くことが出来ました。そして1月には、いぶき組が育てていたかぶが大きくなり、つぼみ組もいぶき組と一緒にかぶを抜きました。腰に手を当てて友達と一緒に「うんとこしょ、どっこいしょ」と声に出してかぶを抜こうとする姿はとても可愛かったですね。たくさんのかぶができ、収穫することを友達や保育者と一緒に喜びました。大きさや形も様々で土が付いたかぶを丁寧に洗い、実物のかぶに触れることを楽しみました。また、給食では台所の先生にかぶの葉のふりかけを作ってもらい、ご飯に混ぜたものをラップにのせて自分たちで握り、おにぎりを作ることが出来ました。「おいしいね」と友達同士で会話をしながら、収穫したもので食事をする嬉しさも味わいました。



～タペストリー作り～

毛糸と丸型の段ボールを使ってタペストリーを作りました。好きな色の毛糸を自分たちでいくつか選び、友達と一緒に作ることを楽しんでいました。なかなか上手く出来ないときは友達に「どうやってするの?」と聞いてみたり、友達が困っているときは教えてあげようとする姿が見られました。出来たものを見せ合っているときの表情はとても満足気で、

「ママに見せる!」と嬉しそうに話している子もいました。段ボールの切り目に毛糸を掛けていくことは力がいり、手先を上手く使えないこともありましたが、諦めずに何度もやってみようとしていました。それぞれいろんな模様が出来て可愛く仕上がりが大満足でした。



“担任の思い”

鉄棒の技やなわとび・ルールのある遊びなどに興味を持ち、遊びがどんどん広がってきています。今までは一人遊びをしていることが多かったけれど、「おおきなかぶ」や「おにごっこ」などを通して集団で活動することが増え、友達と遊ぶことの楽しさを感じているように思います。生活や遊びの中でも少しずつ難しいことに挑戦しています。そんな姿をゆったりとした気持ちで見守り、一緒に喜んだり共感することで安心し、次への自信に繋げていけるようにしていきたいと思います。

林 千紗・星加 由美子・山本 あかね

～いぶきぐみ～

ねらい：「自分のしてみたいことを見つける、やってみる」

う た：「まめまき」「うたえバンバン」

新しい1年が始まり、「もうすぐひかりさんになるんやで！」「もうお兄さんだもん。」など、また一つ大きくなることを楽しみにしているような話がよく聞こえてくるようになりました。そんななか、ひかりさんになるまでに頑張りたいことを一人ひとり聞いていきました。「だいちさんみたいに鉄棒くるくるってまわりたい」「長い縄とび跳びたい」などたくさんの頑張りたいことが見つかりました。いぶき組もあと少し。たくさん見つかった頑張りたいことを一緒に楽しんでいきたいです。

“2回目のかぶさん収穫！”



12月末に一度カブを収穫しましたが、それでも半分以上残っていて、みんなで力を合わせて収穫しました。

カブを引っ張る子、それに続いてその友達を引っ張る子、どんどん長い列ができて「うんとこしょ！どっこいしょ！」と引っ張ります。すっぽーんと抜けたかと思うと、とっても立派に育っていました。みんなでびっくりしてい



ました。「小さい種だったのにね～。」「だって水やり頑張ったもん！」など、思い思いに話していました。

収穫したカブはその日のうちにお味噌汁に入れて、サラダにして、ふりかけにして食べました。その日1日は、カブずくしでとても



嬉しそうに食べていました。

立派に育ったので、今はヘタを切り残して水栽培をしています。毎日水を変えながらも少しずつ葉が伸びている様子を観察しています。

“かめさんのお池”

成長発表会もあり、かめさんのお池をにこにこ広場にお引越していました。ある日ににこにこ広場で歌を歌っていると、「なんだか元気ない

んじゃない？」と屋根の中にみんな入ってしまったかめさんに気がつきました。「きっとお家がなくなって寒いんだよ。」という話になり、みんなでお家を作ることになりました。にこにこ広場は小さいお友達も通るから崩れないような丈夫なお家を作ろうと相談が始まり、段ボールや牛乳パックなど、どの素材でつくろうかまで意見が出ていました。それぞれで使いたい色がまとまらなかったため、一つ一つをそれぞれで作り最後に全部を繋げることにしました。

たくさん泳げるようにと、丸の形にもこだわって作っていました。

池が出来上がると、いぶき組にとってもお気に入りの場所になったようで、お世話をしたり、時にはかめさんと一緒に泳いで遊んでいました。



“担任の思い”

今月の様子を書いていると、カブの収穫も終えて、かめさんの立派なお家も出来上がって、いよいよ1年が終わってしまう！と寂しいような嬉しいような複雑な気持ちです。今までのことを思い返すと楽しかった思い出ばかりで、このいぶき組での1年が終わらないで続いて欲しいし、まだまだ一緒にいろんなことをしたいと思います。でも残すところあと2ヶ月。次のひかり組を楽しみにして、子どもたちにも「あ～おもしろかった！」と感じてもらえるように一緒に過ごしていきたいです。

林 奈津美

ねらい：「遊びの中で感じたことを伝えあおう」「様々なことを自分で試して表現する」

う た：「ともだちになるために」「豆まき」

『雪』の歌を歌いながら「あと何回寝たら行くの?」「だいちさんに何したか聞いてみよう」とずっと楽しみにしていた雪遊び。そり滑りや雪の上に寝転んでみたり、雪だるまを作ったり、たくさん遊んだ後に食べたカレーが美味しかったと帰ってからも子ども達で話をしていました。1人1人の話から「あのそりめっちゃ速かった～」「〇〇ちゃんと滑りそうになったな」とそれぞれが経験したことをお友達にも話したい気持ちが溢れていました。自分が感じたことを誰かに話したい様子は、普段園での生活や子ども達が遊ぶ中でも増えてきました。

【寒さなんで吹き飛ばしちゃえ】

秋頃の朝は「おはよう」と園庭で元気な挨拶をした次いでくる言葉は「寒い～」と身体を小さくして座っている子どもたちでしたが、最近は寒い風が吹いても元気に走り回って遊んでいます。そのきっかけになったのが鬼ごっこと縄跳びです。鬼ごっこでは今までの逃げる、捕まえるルールだけでは物足りず、捕まえた人を助ける“鍵鬼ごっこ”でチームで

助け合うことも考えながら自分も逃げないと捕まってしまう！と少し難しくなります。体操から始まったゲームですが何度も繰り返して遊ぶ中でルールも覚えて今では「これだいちさんもしてた!」とだいちさんに声をかけて一緒に遊ぶ姿も見られます。

縄跳びでは先月のかえでゆうびんの縄跳びの様子から「おはよう!先生縄跳びまわして!」「今日は何回跳べるかな?」

何度も何度も並んで集中して遊んでいるので、気が付くと汗をかい「こんなに汗かいちゃった～」「はあ～、ちょっとひやりん飲んでくる」と一旦休憩しながらも一呼吸置いてから「よし今度は50回跳んでみる!」「次誰が鬼する?」と寒い冬にも負けずに園庭に走り出していました。



“担任の思い”

自分の好きな遊び、知ったことを友達と一緒にやってみたい、話してみたい、知ってほしいと自ら話しかける姿も増えてきました。それはたのしいかえでの日の作品づくりのきっかけにもなっています。1人1人が楽しみながらも自分らしさを考え作品に取り組む様子を見て、こんなことも好きだったんだ…と私自身がその子の発見を知る機会になったり、向き合えるとても大切な時間になっています。子ども達も自分がイメージしたことをどのように表現したいかを言葉や行動で誰かに“伝えたい”気持ちも自然とでていっているように感じます。失敗したことからまた挑戦しようとしていたり、体験したことから発見があったりと何度も経験する中で友達と楽しむ機会も増えたように感じます。その中で相手がどう感じているか「そんなこと知ってるの?」「こんなところもあるんだ」と友達を知るきっかけになるようそれぞれの時間を過ごしていきたいと思います。

～だいちぐみ～

ねらい：「周りの人の存在に気づき、ありがとうの気持ちを持つ」

う た：『さよならぼくたちのほいくえん』『ありがとうこころをこめて』

寒さが和らいできた 1 月後半から、園庭で過ごす時間も少しずつ長くなってきました。寒い時期には体を温める意味も込めて、短縄を始めました。一度も跳べず悔しさから涙を流す子もいましたが、諦めずに何度も挑戦するうちに、10 回、20 回と跳べるようになりました。友だちと比べるよりも、さっきの自分より出来たことを喜びながら、毎日楽しんでいきます。

生活面では、自分たちで時間を意識できるよう、終わりや始まりの目安の時間を事前に伝えるようにしています。だいちさんは夢中になりうっかりすることもあります。 “誰でも忘れることはあるよね” という心構えで関わるように気をつけながら、自分で出来る経験を大切に見守っているところです。

“ぼくらしさ、わたらしさ”

年が明け、今まであたり前のように過ごしてきた保育園での生活も残りわずかとなりました。子どもたちも周りの環境や大人との関わりの中で感じているようで、「ぜったいぼく卒園式泣いちゃうもんなあ、先生もぜったいに泣くと思うわ」「離ればなれになるの寂しい～」と笑顔で話しています。

小学生になることを感じると共に、今まで経験してきたことを何か形に出来ればと思い、作品づくりにも向かいました。いち早く作りたいものを決めてとりかかる子もいましたが、なかなか納得のいくことが見つからずに悩み続ける子の姿もありました。

決して“作らなくてはいけないもの”ではなく、今までの日々の中で心に残ったことやその子らしさを表現出来るように意識しながらも、担任も一緒に頭を悩ませていました。

こんな時、いつも一番頼りになるのがだいち組の仲間です。朝、みんなが集まっている時にだいちさんに尋ねてみる事にしました。「ねえみんな、〇〇くんといえばこれだな！と思うこと、〇〇くんらしさって何かな」と聞くと、張り切って次々に手が挙がりました。「いっつも笑っててかわいい」という言葉の他にも「〇〇くんによくトランプでスピードをしてあそんでるよね」等、友だちとあそんでいる姿を挙げてくれる子もいました。

“友だちがこんなにも自分のことを知ってくれているんだ”と、きっと心がほっと温まるような感覚だったのではと思います。

“みんなでいっしょが楽しい”

ここ最近、園庭では大人数で一つの遊びを楽しむ姿が増えたように感じます。サッカーから始まり、ドッチボール、鍵おにごっこ、ルールのあるあそびを通して友だちと喜びを共有する瞬間は心から楽しそうな笑顔が見られます。ドッチボールは体育あそびをきっかけにあそびが広まっていったのですが、何よりも成長

を感じたのが“審判”の存在です。今までであれば自分もあそびの中に入りたい、と感じる子がほとんどでしたが、

審判になりみんなでゲームが楽しめるように子どもたちだけで行うようになりました。

まだまだ審判の声が通らず「あれ？今のはアウトでは…？」と思う場面もありますが、それぞれが役割を担い、

子どもたちだけで一つの世界を作り上げている姿をみると、成長が嬉しく微笑ましく感じるので。



“担任の思い”

「だいちさん、大きくなったね」「みんなだけでドッチボールが出来るようになるなんて」と、保育者の中からも声があがっていました。皆で見守ってきただいちさんの成長を、卒園間近のこの時期に改めて感じています。

“卒園までにこれが出来ていた方が良いのでは”と考えることもありますが、“こんなことが出来る様になったんだ”と視点を改めてみることで見えてくるものもあるのだと、日々のだいちさんの姿に気付かせてもらっています。あと残りの時間を大切に小学校への嬉しさを持って保育園生活を仕上げたいと考えています。

保護者の方からのおはなしコーナー

以前は、盆踊りも踊らず、運動発表会のダンスもせず、合唱も歌わず・・・と毎回ハラハラしていましたが、先日のせいちょう発表会で好きなことにダンスを選んで踊ったことに親2人でびっくりしました。みんなで楽しく踊るうちに大好きになったのかな？とうれしくなりました。

だいち組 さやかさん

最近、わざと間違ったこと、逆のことを言うのにはまっている息子。

りんごを「みかん」人参を「トウモロコシ」。寒い外で「暑いね～」信号の青は「ストップ」で赤が「ゴー！」、

「美味しくない」と言いながらご飯をパクパク食べ、「〇〇先生怖い」（明らかに息子の好きな先生の名前）とニカニカしながら言っていました。

ふたば組 ゆきさん

入園児からごはんを食べるのが遅かった娘ですが、最近は早く食べられる日があるようで得意気に「今日は早かったよ！」とか「今日はぴかぴかにしたよ！」とか教えてくれます。

たくさん食べて強く、大きくなってほしいと思います。

いぶき組 あきこさん

さかあがり、なわとび、自転車など、次々新しいことに挑戦する娘。

できるまで黙々とがんばる姿も、できるようになって「ママ、みて！」と言ってくれることも、嬉しいなあと思います。

ひかり組 けいこさん

いつも朝送った時、“バイバイいってくるねえー”と言うと泣いていた娘。

ここ最近は、泣かずに“かぁーちゃんタッチ”と言って遊びに行く姿をみて、心もすごく成長しているんだな…と感じました。

妹がいるからか、自分からあまり甘えてこない娘が、みんなより少し早くおはしが使えるようになった事がうれしかったのか、喜んで教えてくれ、そんな姿を見て、私も嬉しくなりました。

いぶき組 ともみさん



☆お台所から☆

年が明けてから1月もあつという間に過ぎもう2月、春の足音は少しずつ聞こえてくる季節になってきました。2月もだいこんやはくさいなど旬の食材を多く取り入れ、体が温まる献立を取り入れ元気な体作りのお手伝いをしたいと思います。

<1月の食育活動の様子>

<いぶき>

「かぶとブロッコリーのサラダ」に収穫したかぶを使って作りました。「美味しいごはんにしてください」と嬉しそうに立派に育ったたくさんのかぶを持ってきてくれました。サラダの中に入っているかぶを見つけては「とってきたかぶだ」「いっぱい入ってる」と言いながら美味しそうに食べてくれました。又、収穫したかぶの葉を食後に浅漬けにしました。切った葉をビニール袋に入れ、塩を入れて子どもたちが揉んでいると「汁が出てきた」「緑色の水が出てる」など思ったことを話していました。おやつの際にも「美味しい」と食べていました。

<だいち>

『ちぢみほうれんそう』をだいち組で観察しました。『ちぢみほうれんそう』は普通のほうれんそうと違い、収穫する前に一定期間寒い外気にさらしておくことで寒さに耐えられるように葉に厚みとしわができ、糖度・栄養も高くなるそうです。普通のほうれんそうと見比べると「葉っぱがしわしわ」「色が深緑色」「寒いから葉っぱがしわしわになるだ」など感じたことを色々話していました。茹でて味は何もつけずに食べ比べると「味が違う、甘くて美味しい」「このほうれんそう大好きになった」「もっと食べたい」と野菜が少し苦手な子も、とても美味しそうに食べていました。2月の献立にも取り入れてみます。

お餅つきではあんこ、きなこ、だいこんおろし、海苔、さとう醤油の種類を用意しました。

つきたてのおもちは格別だったようで、「おいしい！おいしい！」と食べていました。どの味が好みだったか聞いてみると一番人気はきなこ答える子が多かったです。中には「全部好き」と話している子もいました。又、杵でおもちをついてみて「難しかった」「疲れたけど楽しかった」など色々話してくれました。もち米をよい感じで蒸すのはタイミングが難しいですが今年のやり方を基本にし、来年もたのしくおいしいおもちつきにしたいと思います。

<2月の献立で使用する旬の食材>

だいこん	はくさい	ほうれんそう	かぶ
ブロッコリー	こまつな	ポンカン	いよかん

<2月に予定している食育活動>

節分に関する由来（ひいらぎ・いわしを飾る、福豆を食べる）

大豆・塩・米麴を使ってひかり組が味噌作りを予定しています。

だいち組は生地から練ってうどん作りを予定しています。



カブの葉を浅漬け



ちぢみほうれんそう



つきたてのおもち



2月2日(土)は楽しいかえでの日です。

時間：10:00~14:30

11:00~フラダンス

ダンディタイムの作業はフリールームで行いますので、是非ご参加ください。

当日、来られなかった方のお子様の作品はしばらくの間ランチルームに飾ります。是非お迎えの際お子様と一緒にご覧ください。当日は写真撮影を許可しています。

改装工事を行います。

2月22日~3月1日は事務所の扉の改装をします。大変大がかりな工事ですので玄関は使えなくなります。登降園は園庭側の通用門を使用します。お子様の安全を確保のため、ガードマンを配置します。

朝7:00~10:00 午後15:30~18:30

自転車は職員通用口前に停めてください

詳しくは後日お知らせいたします。

こんなことしたよ♪

9日はお餅つきを行いました。

かえでCafeのお母さんやおばあちゃん、ダンディタイムのお父さん、おじいちゃんたちに助けて頂き、美味しいお餅をお腹いっぱい食べることが出来ました。

あんこ、きなこ、しょうゆ、のり…

色々な味付けで大満足の子どもたちでした。



16日はひかり組、だいち組で六甲山へ雪遊びに行きました。

沢山の雪に大興奮の子どもたちは、そり遊びをしたり雪と戯れたり、思いっきり体を使って雪を感じていました。

今年はそりだけではなく、自分のお尻を使って滑り降りる遊びも楽しんでいました。



★お願い★

・緊急連絡をすることがあります。

お仕事がお休みの場合は担任に声を掛けてお知らせ下さい。

緊急連絡先の変更があるご家庭は速やかにお知らせ下さい。



《2月の予定》

2日(土) 楽しいかえでの日

5日(火) 節分の集い・豆まき

7日(木) 子ども園説明会

2回目 17:00~18:00

8日(金) 絵画

15日(金) 全園児お弁当日

だいちぐみおでかけ

子ども園説明会

3回目 18:00~19:00

16日(土) かえでカフェ 13:30~15:00

フラダンス3回目

18日(月) 月例健診

19日(火) 絵画

21日(木) 子育て支援事業<スマイル>

25日(月) だいちぐみ地域交流

<また会おうねの会>

26日(火) 誕生会

7・14・21・28日(木) たいそうの日

*体操服お忘れなく

《3月の予定》

1日(金) 酒蔵見学(ひかり・だいち)

*保護者の方へのご案内はお手紙を配布します。

2日(土) 入園説明会

16日(土) 卒園式

*めばえ~いぶき家庭保育にご協力下さい。

職員全体でだいちぐみを送ります。

ひかりぐみは園児代表で式に参列します。

18日(月) だいちぐみ

~老人施設メヌエット訪問

30日(土) お弁当日

*新年度の会議・準備を行います。

できるだけ家庭保育にご協力お願いします。